

第 7 7 回 地区内中小企業 景 気 動 向 調 査 結 果

(平成 20 年 1 月 ~ 3 月実績)

(平成 20 年 4 月 ~ 6 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース	1
全国 ・ 全道の概況	4
調査の概要	5
全業種総合	6
製造業	9
建設業	11
卸売業	13
小売業	15
サービス業	17
特別調査	19

地区内データベース

1.人口・世帯数動向(平成20年3月末)

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3月末比	世 帯 数	前年同月比	3月末比
平 取 町	5,859	-132	-132	2,608	-23	-23
日 高 町	14,088	-191	-191	6,580	-5	-5
新 冠 町	5,949	-43	-43	2,596	18	18
新ひだか町	26,352	-445	-445	12,213	-43	-43
浦 河 町	14,669	-337	-337	6,975	-108	-108
様 似 町	5,466	-150	-150	2,333	-40	-40
え り も 町	5,645	-107	-107	2,169	-40	-40
広 尾 町	8,209	-181	-181	3,419	-7	-7
大 樹 町	6,268	-98	-98	2,630	-12	-12
日高・十勝地区合計	92,505	-1,684	-1,684	41,523	-260	-260
札 幌 市	1,893,547	5,728	5,728	870,414	12,774	12,774
江 別 市	123,012	-74	-74	52,331	393	393
石 狩 市	61,367	39	39	25,579	288	288
北 広 島 市	60,987	29	29	25,303	285	285
恵 庭 市	68,469	500	500	29,322	512	512
千 歳 市	92,017	209	209	42,870	522	522
石狩地区合計	2,299,399	6,431	6,431	1,045,819	14,774	14,774
苫 小 牧 市	173,504	182	182	79,876	1,117	1,117
厚 真 町	4,959	-66	-66	2,004	9	9
む か わ 町	10,053	-191	-191	4,506	-36	-36
胆振地区合計	188,516	-75	-75	86,386	1,090	1,090
営業区域合計	2,580,420	4,672	4,672	1,173,728	15,604	15,604

(資料出所：各市町村)

2.企業倒産状況(平成20年1~3月中)

単位：件・千万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	9	336	-1	125
(内・新冠町~えりも町)	2	215	2	215
業種および件数	建設業6件、小売業1件、卸売業1件、不動産業1件			
地区および件数	苫小牧市2件、千歳市2件、白老町1件、安平町1件、平取町1件、新ひだか町1件、浦河町1件			
北 海 道	168	6,996	9	2,020
全 国	3,715	141,943	275	6,759

(資料出所：東京商工リサーチ)

3. 労働需給状況

平成20年1月

	浦 河 (人・倍)	全 道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	636	50,072	-2.45	-4.18	11.97	7.65
月間有効求職者数	867	97,745	7.30	-1.02	15.29	3.79
月間有効求人倍率	0.73	0.51	-0.08	-0.02	-0.03	0.02

平成20年2月

月間有効求人数	710	55,038	-3.66	-1.86	11.64	9.92
月間有効求職者数	972	103,631	11.47	-0.65	12.11	6.02
月間有効求人倍率	0.73	0.53	-0.12	-0.01	0.00	0.02

平成20年3月

月間有効求人数	794	59,253	3.79	-4.52	11.83	7.66
月間有効求職者数	1,164	112,894	16.40	-1.22	19.75	8.94
月間有効求人倍率	0.68	0.52	-0.09	-0.02	-0.05	-0.01

(資料出所：浦河公共職業安定所)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高(平成20年3月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
120,848	-2.69	0.84	71,308	2.87	3.50

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

平成20年1月

	当 月	前年同月比(%)	前月比(%)
交 換 枚 数(枚)	1,164	-2.51	72.44
交 換 金 額(百万円)	1,613	10.40	49.91
不渡り手形枚数(枚)	37	*	*
不渡り手形金額(百万円)	34	*	*

平成20年2月

交 換 枚 数(枚)	857	-8.83	-26.37
交 換 金 額(百万円)	1,121	-5.56	-30.50
不渡り手形枚数(枚)	9	-	-75.68
不渡り手形金額(百万円)	3	-	-91.18

平成20年3月

交 換 枚 数(枚)	910	10.44	6.18
交 換 金 額(百万円)	1,381	38.38	23.19
不渡り手形枚数(枚)	2	-	-77.78
不渡り手形金額(百万円)	1	-	-66.67

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 新車登録台数

単位：台

市 町 村	20年1～3月の登録			本年中の累計(1～3月)	
	台 数	前年同期比	前四半期比	台 数	前年同期比
平 取 町	38	-7	2	38	-7
日 高 町	115	-20	28	115	-20
新 冠 町	58	-5	25	58	-5
新ひだか町	200	-11	72	200	-11
浦 河 町	111	-26	29	111	-26
様 似 町	38	-6	13	38	-6
え り も 町	37	1	6	37	1
日高支庁管内計	597	-74	175	597	-74
室蘭陸運局総計	4,678	-201	1,371	4,678	-201
管内シェア	12.76	0.39	0.00	12.76	0.39

(注) 管内シェアとは、室蘭陸運局登録台数に占める日高支庁管内の登録割合。

(資料出所：自販連室蘭支部、室蘭軽自動車協会)

7. 建築確認申請

単位：件数

		件 数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内 (新ひだか町～広尾町)	20/1～20/3中の申請	13	-9	-13
	19/4～20/3月迄の累計	143	-55	

(資料出所：各町村)

8. 気象情報(札幌管区气象台発表)

平成20年1月中

	本 年			平 均 値		
	気温()	降水量(mm)	日照時間	気温()	降水量(mm)	日照時間
浦 河	-3.6	8.5	150.4	-0.8	20.9	107.1
広 尾	-5.3	21.0	176.3	-0.5	28.9	110.5

平成20年2月中

浦 河	-2.4	27.0	183.0	0.3	100.4	113.5
広 尾	-4.2	7.5	165.5	0.5	12.5	103.2

平成20年3月中

浦 河	2.1	46.5	170.2	2.0	93.0	84.5
広 尾	1.7	33.5	168.6	2.8	33.6	85.8

(資料出所：日本気象協会北海道支社)

全国・全道の概況

信金中央金庫がまとめた全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況は、平成20年1～3月期(今期)の業況判断D I値は急速に悪化し、10～12月期(前期)比8.8ポイント低下の 25.2となった。季節的要因があるものの、今期の業況判断D I値が前期比で8ポイント以上低下したのは、平成13年以来7年ぶりである。収益面では、前年同期比売上額および収益の判断D I値がそれぞれ 17.7、27.8と、ともに前期比マイナス幅拡大となった。設備投資実施企業割合は18.1%と、前期比1.3ポイント低下した。業種別の業況判断D I値は、6業種すべてにおいて前期に比べて悪化した。

平成20年4～6月期(来期)の予想業況判断D I値は 22.1と、今期実績比3.1ポイントの改善見通しとなっているものの、その水準はマイナス20台にとどまっており、業況の見通しに明るさは感じられない。

日本銀行札幌支店が4月1日発表した金融経済概況によると、道内の景気は、やや弱めの動きが続いている。すなわち、最終需要面の動きをみると、公共投資は低調に推移しているほか、住宅投資も弱さがみられる。また、個人消費もやや弱めの動きとなっている。一方、設備投資は堅調に推移している。こうした中で、企業の生産は緩やかに持ち直しているが、雇用・所得環境はやや弱めの動きとなっている。この間、企業の業況感は、製造業、非製造業ともに悪化している。

需要項目別動向

個人消費・・・やや弱めの動きとなっている。大型小売店の売上高は、雇用者所得の改善が遅れていることなどを背景として、衣料品等を中心に低調な動きが続いている。耐久消費財については、家電販売は薄型テレビを中心に底堅い売れ行きとなっているほか、乗用車販売は、普通車、小型車の新車投入効果がみられることなどから、増加している。この間、来道者数をみると、天候不順による航空便欠航の発生から、足もとやや減少しているが、札幌を中心とした道央地域への観光客が底堅く推移するなど、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資・・・低調に推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、国、地方公共団体の予算規模縮小を背景に、低調に推移している。

- 住宅投資・・・弱さがみられる。新設住宅着工戸数をみると、建築基準法改正の影響による落ち込みから持ち直しつつあるものの、マンション需要が低調であることから、貸家および分譲を中心に足もと減少しているなど、弱さがみられる。

設備投資・・・堅調に推移している。業種別にみると、製造業では、輸送用機械を中心に生産能力の増強投資等の動きが続いているほか、非製造業でも、小売業等で新規出店に向けた投資がみられる。

- 雇用・所得・・・やや弱めの動きとなっている。有効求人倍率(全数)は、新規求人数が建設業、卸売・小売業を中心に減少を続けていることなどから、低下している。また、雇用者所得は、足もと改善しているが、企業の人件費抑制スタンスが根強い中で、常用労働者数が伸び悩むなど、振れを伴いながらも基調としては幾分弱めの動きとなっている。